



第43回日本美容皮膚科学会総会・
学術大会

日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

スイーツセミナー 8

色素異常症治療の革新的アプローチ 患者QOL向上への統合的戦略

2025 **8/17**(日)
15:00-16:00

F 会場
大阪国際会議場
12F グラントック

座長 森田 明理 先生



色素異常症が患者のQOLに与える影響：
最新の知見と効果的な治療戦略

秋田 浩孝 先生
藤田医科大学 ばんだね病院
准教授



メラ B3 セラムと光防御戦略の統合による
色素沈着異常症治療の新展開：
臨床結果と包括的アプローチ

小林 美幸 先生
聖心美容クリニック 熱海院
院長



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第43回日本美容皮膚科学会総会・ 学術大会



座長

森田 明理 先生

名古屋市立大学 大学院医学研究科
加齢・環境皮膚科学分野 教授



色素異常症が患者のQOLに与える影響： 最新の知見と効果的な治療戦略



秋田 浩孝 先生

藤田医科大学 ばんだね病院
准教授

色素異常症（尋常性白斑、肝斑、炎症後色素沈着など）は身体的症状に加え、患者の心理社会的側面に深刻な影響を与えることが近年の研究で明らかになっている。老人性色素斑、雀卵斑、後天性真皮メラノサイトーシス、肝斑といった顔面良性色素斑は美容皮膚科領域において受診されることが多く、特に女性においてQOLの低下の一因である。治療としてレーザー・光治療のみならず化粧品類をはじめとした保存的治療も重要な役割を果たしている。

本講演では、レーザー機器の特性理解とスキンケア製品の薬理的知識を統合し、患者のQOL向上と長期的な治療成果の向上を目指す内容を考え、各種色素異常症の病態生理と心理的影響の関連性、レーザー・光治療を中心とした治療アプローチとその有効性についてエビデンスに基づいた分析を提示できればと思う。



メラ B3 セラムと光防御戦略の統合による 色素沈着異常症治療の新展開： 臨床結果と包括的アプローチ



小林 美幸 先生

聖心美容クリニック 熱海院
院長

後天性色素異常症は、表皮基底層メラノサイトにおけるチロシナーゼ活性亢進、メラニン過剰産生、およびメラノソームの異常分布に起因し、患者のQOLを著しく低下させる。本講演では、新規開発されたメラジル配合メラ B3 セラムの臨床的有用性を検討した結果を共有する。

メラジルはドーパキノンなどのメラニン前駆体と特異的に結合してメラニン合成を抑制し、ナイアシンアミドなどが炎症性メディエーター産生抑制と角質層バリア機能強化に寄与する。臨床評価では、従来のハイドロキノン4%製剤やシステアミン5%と同等の効果を示しながら、より高い安全性とQOL向上効果を有することが確認されている。

また、色素異常症の管理において、メラ B3 セラムによる治療効果を維持するための補助的要素として、適切な光防御の重要性についても言及する。効果的な治療結果を得るためには、日常的な紫外線防御習慣の確立が推奨される。これらを踏まえ、色素異常症に対する包括的ケア戦略を提案する。